

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	P	保健体育	体育	全	必	3

講座のねらい

運動によって体力の向上と健康な生活を送る為の基本的な知識を理解して身につけます。また、生涯にわたり運動を楽しみ健康保持増進を計画的に推進できる能力を養います。

使用教材及び問題集

保健の教科書に、保健体育（大修館）。副教材として、保健学習ノートを使用。技術習得のポイントやルールの確認にはステップアップ中学体育（大修館）を使用します。

授業の内容と進め方

授業は各クラスの体育委員の指示で整列、挨拶、点呼で始まります。体育委員を中心に授業に沿ったウォーミングアップや補強運動、主運動と進めていきます。各種目では、基本練習を経てから段階的に授業を進めていきます。集団スポーツでは、チームメイトと協力して楽しくゲームを行えるように努力させ、多くのことを身に付けさせていきます。

講座の到達目標

各種のスポーツを経験することにより運動技能の向上と、それらの経験を通じて公正、協力、責任などの態度を育て強健な心身の発達を促し、運動に親しむ態度を育てます。保健では、中学生期の心身の発達と心の健康について学びます。

評価の観点・テスト・課題など

保健3割、体育実技7割で評価します。タイム測定や技能テスト、試合の実技などで評価します。そのほかに出欠や積極性、授業態度なども重視します。運動能力が高い低いだけではありません。保健は学期末で定期考査を行います。（保健編・体育編など）

備考

授業の補習は実施しません。
体育実技については、天候、場所の都合により男女種目に変更があります。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

集団行動・・・集合隊形・整列・行進 等

スポーツテスト・・・握力・上体起こし・持久走・50M走・ハンドボール投げ・反復横跳び・
長座体前屈

陸上競技・・・走運動（短・長距離走）・跳運動（幅跳び・高跳び）

ソフトボール・・・スローイング・バッティング・キャッチング

保健・・・保健編『健康と環境』

1. 環境の変化への体の適応
2. 快適で能率のよい環境
3. 安全な飲料水の供給
4. 空気の汚染と換気
5. し尿とごみの処理
6. 私たちの生活と環境問題

体育編『運動やスポーツの効果と安全』

1. 運動やスポーツの体への効果

2 学期 学習計画および学習内容

体育祭種目練習

剣道・・・剣道の歴史的概要/礼儀作法（座礼、立礼、挨拶練習）

着装について・竹刀操作（握り方、構え方）

素振り・足捌き・打突（面、小手、胴）・二段、三段打ち、跳躍打突等

バレーボール・・・オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・レシーブ・サーブ・ゲーム

簡易スポーツ

保健・・・保健編『けがの防止』

1. けがの原因と防止
2. 交通事故によるけがの防止
3. 犯罪被害の防止
4. 自然災害への備えと避難

体育編『運動やスポーツの効果と安全』

2. 運動やスポーツの心への効果

3 学期 学習計画および学習内容

身体づくり運動・・・持久走・10分間や5分間走・駅伝・縄跳び 等

サッカー・・・パス・ドリブル・シュート・2対2・5対5・ゲーム

バスケット・・・個人技能の習得（ドリブル・パス・シュート）

集団技能の習得（2対1・3対3などの攻防）

器械体操・・・マット運動・跳び箱

保健・・・保健編『けがの防止』

5. 応急手当の基本
6. けがの応急手当
7. 心肺蘇生法

体育編『運動やスポーツの効果と安全』

3. 運動やスポーツの安全なおこない方